

普及活動情勢報告（平成29年8月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

市場事故0(ゼロ)のために

～JAとさし 出荷場 GAP 研修会～



戸波出荷場での工夫を学ぶ

農業改良普及課では7月26日にJAとさしの出荷場担当者会を活用して「出荷場GAP研修会」を開催しました。

研修会には出荷場担当者等8名が参加し、まず農業改良普及課が作成した「GAP点検シート記入要領」をもとに、点検の考え方や記入時の留意事項等の確認を行った後、JAとさし管内で一番取り組みの進んでいる戸波出荷場の実施状況を見学しました。参加者からは「実効性のある点検にするためには点検方法の簡素化も必要」「ソフトだけでなくハード面での整備も必要」等の意見が出ていました。

農業改良普及課では、今後、この研修での意見交換をふまえ、JA及び園芸連とともに「平成30園芸年度JAとさし版点検シート」を作成し、次園芸年度からの点検活動を推進していきます。

女性の農力を高めよう

～土佐アグリレディース・伊野地区生活改善グループ連絡協議会合同先進事例視察研修～



栽培実証状況の視察

土佐アグリレディースと伊野地区生活改善グループ連絡協議会は、お互いの交流を深めることも兼ね、合同での先進事例視察研修を実施しています。今年度は農業改良普及課の働きかけにより、はちきん農業大学地域講座の1つとして、8月2日に農業担い手育成センターにて視察研修を行いました。

参加者20名は、新規就農者の確保育成の取り組みや環境制御技術を用いた栽培実証等について、様々な質問をし、圃場では予定外で自分の栽培している品目のハウスの見学希望が出るなど、熱心に学ぶ姿が見られました。

農業改良普及課は、引き続き両組織の活動及び女性の能力向上への支援を続けていきます。

中央西地区環境制御技術講演会の開催

～根圏管理について学び栽培に活かそう～



熱心に聞く生産者ら

8月10日、JAとさしみのり館において、中央西農業振興センター主催の中央西地区環境制御技術講演会を開催し、生産者26名を含む52名が参加しました。

講師は全農の吉田征司氏で、「植物生理と環境制御技術における根圏管理について」と題してかん水管理に関する基本的な考え方や作物の生長を水分管理で操作する方法について講演を頂きました。前回講演時に時間が不足したことから再度、土佐市での講演（合計3回目）となりましたが、新たな視点の内容もあり、また初めて聞く生産者も多く、非常に勉強になったとの感想が聞かれました。

農業振興センターでは、今後も環境制御技術に関する勉強会等を通して、環境制御技術の向上のための支援をしていきます。

いの町ショウガ研修生の勉強会
～農業基礎講座を開催～



真剣に聞く研修生

8月23日、農業改良普及課は、JAコスモス伊野支所において、JA担当者と連携し同支所まるい生姜部会で受け入れている研修生2名を対象に、勉強会を開催しました。生姜部会が提案型担い手確保対策で受け入れた最初の研修生でもあり、関係機関としても、提案書が、今後も担い手確保のきっかけになることを、期待しています。

勉強会では、ショウガの病虫害防除と経営内容の把握について講義を行い、特に、現地ほ場では直接見たことがない貯蔵中の根茎暗斑病（黒シミ症）など、「具体的な画像が参考となった」との感想が出されました。

農業改良普及課では、今後とも関係機関と連携し、農業基礎講座（座学）を開催し、早期栽培技術の習得支援を行っていきます。